

Do small things in a great way



月刊

ZENIYA & LIFE

— 最高の普通を —

ご自由にお取りください

2023
October
vol.40

10

一瞬の連続を
大切に：
上本町

今年の栗名月は
10月27日



酔いしれた夜



ボーカル/伊藤久美 ピアノ/RISA ベース/佐々木善暁



ちょっとしたことを、ちゃんとやる。
そうとしか言いようのない基本を
大切にしたいと思います。



ないならば つくれば良いはず…

巻末の「ゼニヤの内」では少し抽象的になることもありますが価値観に関する発信をしています。普段からナニヤラモヤモヤと違和感を感じていたり、疑問に思うことに対しての提言のようなつもりで書いています。そこで以前に大学生と話していて、入学したばかりの彼らが、もう就職の心配をしている事について触れたことがあります。「どんな会社なら有利か」が気になったり、そもそも「やりたい仕事が見つからない」と悩んでしまうこともあるようです。

職業とは、今までの社会にとって必要だった役割に名前がついたものに過ぎません。これからの社会を担う君達（若者）が、どうして既にある職業に自分を当てはめ、その中から選ばなければいけないと考えるのか？しかも、その中で有利か不利かを考えて…その（有利さの）有効期限は何年くらい続くと思っ

いるのか？等、いくつかの疑問を投げかけながら話し、未来の世の中にとって必要な職業は君達が創り出せばいいじゃないかと（もちろんソフトに、でもしつかりと）伝えました。

これを「近頃の若いモンは…」と言うつもりはありません。差別的な表現から時代に合わなくなつて発禁となつた古典的な絵本の名作を、時代に沿うようにリライトして復刻する事業で起業を目指す学生や、過疎の村で「芸術家」として村の魅力を発信する若者、太陽光パネルの設置予定地を買い取つて自分達で森の一部を整備して子供達が自然に触れることができる環境を造ろうとしている若いカップルとも出会いました。

一方で、会社で決められたのであるうSDGsのバッジを付けている人などは「そうすると有利」だと考えているだけなのではないかと訝つてしまう言動の方々もいます。胸につけたものは、どうせいつか失くすのだから心につければイイのに、と思つています。



共創型モノづくり
「この指とまれ」



た然りですが、ともかく思い込みに捕らわれず、自分が感じた違和感のようなものを、その根拠を追求すると世の中の見え方が変わるばかりでなく、自分の正体のようなものが見え、世の中での収まりどころがわかってくる気がします。

ないならばつくる、 と言えば…

マーケティングの成果として売れそうなモノが並び、そこから選ぶことに慣れた人々は、要るモノは買っても欲しいモノが手に入るとは限りません。そもそも欲しいモノが思いつかない場合もあるでしょう。やりたい仕事が見つからないのと本質は同じです。欲しいモノは（思い浮かぶが）見つからないから、つくってみたいと思われる方は銭屋本舗本館のWEBサイトから「共創型モノづくり この指とまれ」にご参加ください。

（文・正木）



ゼニヤの
ホンキ

Earnest of
ZENIYA



香西生孔

物心つく頃より、描く、作る事が日常にあり今もその延長線上の日常を送る。今は、人と作品がより近くなればという思いで、平面作品、使って楽しめる作品を制作している。

Information

TURN EP2

～香西生孔 展示販売会～

日時：

11月2日(木)～8日(水)

11:30～17:30

※4日のみ20:30まで

※食事は4日(土)・7日(火)のみ。

場所：

銭屋ベース ソソラソウ

(銭屋本舗南館7階)



本気だからこそ伝わる。
伝えたいから本気になる。
どちらも大切にしてお届けします。



アートと食の コラボレーションが実現

2023年11月。銭屋ベースソソラソウで香西生孔展を行います。

今回の展示会タイトルは「TURN EP2」。なぜ「EP2」なのか。それは「EP1」はこの夏、六甲サイレンスリゾートで開催され、そこで生まれた作品も持って、ここ上本町にやって来られるからです。私も六甲へ伺い、作品を拝見、楽しませていただきました。約2メートルもある作品はまさに圧巻。

けれど強すぎず、すぐに仲良くなれたようでした。作品の後ろには青々とした木々たちが顔をのぞかせ、それとも調和していて、居心地がとてもよかったです。「展覧会」というと少し肩に力が入るので、居心地の良さを感じることができるとは思いませんでした。作品自体は力強さもございませんが、空間とのマッチングで、見え方が大きく変わりますね。

今回のEP2もご来場の皆さまに心地よく過ごしていただくため、期

間中のイベントも企画。それは食とコラボレーションです。せっかくオープンキッチンのあるソソラソウですから、「アートと食」ということだからこそできる企画を皆さまにご提案します。ご一緒するのは、香西さんと日頃から交流のある料理家井植雅子さん。期間中2日間(11月4日・7日)はアートが飾られた空間で食事やお酒が味わえます。

アートの中で食事!?ちよつと想像し難いかもかもしれませんが、ご自宅でもアートや植物に囲まれた暮らしをしている方、いまはできていないけれど将来そうしたいと思われている方、いらっしゃるのではないのでしょうか。想像よりも少し上をいけるように準備を進めてまいります。

香西さんとこの展示会やイベントの打ち合わせを行う中で、よく出てくるキーワードが「この場所にある、この作品を感じていただき、全ての人にゆつたりと過ごしてほしい」ということ。日頃、慌ただしく過ごされる中で、この時だけは何も考えずただただ頭と心を緩めて欲しい、そう願っています。

ソソラソウは初めての秋を迎えます。植物たちも色を変えて、私たちと一緒に皆さまをお待ちしております。

普段使いしやすいモノも
たくさん!

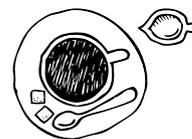


ソソラソウは初めての秋を迎えます。植物たちも色を変えて、私たちと一緒に皆さまをお待ちしております。

(文・中島)



錢屋カフェー
カフェタイム



ちょっとした時間、
ちゃんとした美味しさを

わたしたちの器選び 〜 北欧ヴィンテージカップ 〜

秋らしくなり、あたたかい珈琲が美味しい時期に入りました。

珈琲はカップの口の形状や厚みによって味や香りが変わるのをご存知ですか？ 錢屋カフェーではカフェで過ごす時間をより充実していただくため、カップも一つずつ大切に選んでおります。

北欧フィンランドではリラックスタイムをしっかりと持つ習慣が根付いています（法律として1日2回のコーヒー休憩が義務付けられているそうです！）。リラックスタイムに欠かせない食器類には皆さ



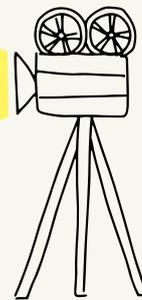
それぞれに想い入れがあるそうです。特にヴィンテージ食器は、もう採取出来ない土や染料を使っていることもあり、その時代にか生み出せない色合いなどがあります。

ご来店いただいたお客様には是非、珈琲と共にカップの良さを感じて頂きたいと思えます。錢屋本舗本館の価値観のひとつに「#本物に触れる」、という考えがあり、スタッフ同士でもヴィンテージカップの良さや歴史など想いを伝え合い、大切に扱うように心掛けています。

食洗機は使用せずに手洗いしておりますが、それでも欠けてしまうこともあります。そんな時には処分するのではなく、金継ぎをしたり、手入れをしたりして大切に使い続けています。是非、どのカップで珈琲が出てくるかを楽しみに待っていただけると嬉しく思います。

（文・川上）

銭屋シネマ



～ちょっと考えてみたいこと～

- 各回チケット代
1ドリンク&おつまみ付 1,800円
学生：1,000円 ※学生証が必要です
- お問い合わせ
銭屋カフェー 06-6770-5770

ようこそ銭屋シネマへ。ここでは映画館ではない空間。
シネマコンプレックスでは流さない
“ちょっと特別な映画”を、
コーヒー片手にゆっくりお楽しみください。

作品情報・上映についての最新情報は
銭屋カフェーWebサイトをご覧ください。



地球のウラガワのこと「知らない」ま
まじやもつたいたい。無関係な世界など
無いのだから。映画との出会いは、今
あなたが見えている景色を少し変えてく
れるかもしれない。そして新しい自分に
出会えるかもしれない。



“希望の世界観”を あなたに届けたい!

TERRA ぼくらと地球のくらし方



銭屋シネマ
10/18 [水]
18:30-

TERRA
ぼくらと地球のくらし方

パーマカルチャーの“希望の世界観”を広めたいと、
コロナ禍に1才の息子を連れ
た撮影の旅で訪れた日本
各地とアメリカ西海岸で、
楽しみながら地球を救う
ヒーロー達の物語。

監督：木多伸明 / 製作国：日
本 / 公開：2023年 / 時間：
102分

#自分の頭で考える

パーマカルチャーとは、パーマネ
ント（永続性）、アグリカルチャー（農
業）、カルチャー（文化）を組み合わ
せた、人と自然が共存する持続可能な
デザイン手法のことで、この映画の監
督のノブさん一家もその実践者の一
人。基本倫理は、アースケア（地球に
配慮する）、ピープルケア（人に配慮
する）、そしてフェアシエア（みんな
で分かち合う）。その暮らしの先に
は、循環する豊かな世界が...
彼らのようにはいかななくても、自然
と人間のつながりに目を向けるきっか
けになるかもしれません。

(文・岩佐)



コロナ禍、女子大生が見た世界

コットンダイアリー

#感性を信じて 感動したら行動する

実はこの映画、銭屋本舗本館のス
タッフ・尾松が、大学時代に制作した
ドキュメンタリーです。料理上手な、
妹の友人の母。築300年の茅葺屋根
の家に住む夫婦。喫茶店のマスター
に、元刑事の農家...。2020年4月
から2年間に渡り撮影・編集しまし
た。ちよつとこだわりを持った方々の
暮らしぶりが、小さな幸せや新しい価
値観を教えてください。上映後には撮
影の裏側やエピソードをお話した
ます。ぜひお気軽にお越しください。

(文・尾松)

銭屋シネマ
10/29 [日]
18:00-

コットンダイアリー

コロナ禍で足元の暮らし
を見つめ直すことの大切
さに気づいたコットン。
地元兵庫県小野市とその
周辺で、ちょっとしたこ
だわりを持ちながら明る
く前を向いて生きる人々
との出会いを重ねていく。

監督：尾松琴音 / 配給：「コ
ットンダイアリー」上映委員会
/ 製作国：日本 / 公開：
2022年 / 時間：30分



愛用品を
次の方へ譲る。



皆さんの暮らしは、どんなものに囲まれていますか？目も心も喜ぶものばかりで生活空間を埋め尽くしたい。そう願いながらも機能性やコストを考えて選んだモノも多くあるはずです。それももちろん否定しません。私も、「とりあえず、これを使っておこう」そう思っただけのもの、これまでに山ほどあります。ただ、せっかくならば、好きなモノ・語れるモノたちを傍に置きたい。そう思うことが増してきました。

モノに対する価値の考え方はそれぞれだと思いますが、私たちは、新しいモノに価値があるのではなく、大切にしてきたモノに価値がある。と考えています。新しいモノこそ価値がある。と

考えた場合には、時間が経つにつれ価値は下がってしまうからです。そんなの悲しくないですか。新しいモノには優れている部分はあるのかもしれませんが、スペックよりもロマンがあるものってたくさんある、そんな気がしています。

今回10月14日・15日に行うのは、小さな蚤の市。普段から銭屋本舗本館、特に会場となる「ソラソウ」の立ち上げに関わりのある方々にお声掛けし、出品していただく予定です。テーマは、大切にしてきたけれども、誰かに譲ろう。と思えるモノ。モノのジャンルに制限をかけていないので、どんなものが出てくるのか、私たちもワクワクしているところで、せっかくなので、銭屋本舗本館でもそういったものを探してみようと思っっています。本や食器などを出品予定です。

ご自身の暮らしのおともを見つけて来てください。なにか面白いモノに出会えるかもしれません。

(文・中島)

Information

小さな蚤の市
～大切にしてきたから良い、モノ～

日時：2023年10月14日(土)・15日(日) 11:30～17:30
場所：銭屋ベース ソラソウ (銭屋本舗南館7階)

イベントの詳細は
こちらから



銭屋本舗本館



ZENIYA

銭屋塾

いつもの暮らしをもっと豊かに、
そして丁寧に。

銭屋塾の講座は、
ちょっとしたことを
ちゃんとやってみる「大人の学び場」。
講師が込めた想い、
受講された方にもたらされた感動を
ご紹介します。

想いを美味しく作り、オリジナルの一品として残す 「からだ想いのクッキー箱」

クッキーという身近なお菓子、
可愛らしいデザイン性で自分用や
プレゼントとしても人気のクッ
キー缶。今回、銭屋塾講師と「THE
LETTER PRESS」さんによるコラ
ボレーションが実現！ここだけ
しか体験できない企画をご用意い
ました。その名も「からだ想いの
クッキー箱」。Sachi先生が手
掛けるクッキーの洗練された素朴
さと活版が施された紙箱がそれぞ
れの良さを引立て合います。
贈る相手を想いお菓子をつくる
ひと時や贈る瞬間はやがて記憶と
なり、箱は贈ったその後も入れ物
や飾りとして活用することができます。
「記憶や想い」を残すことができる
一品に。
学びのその先も、暮らしの一部に
宿る体験を。皆さまのご参加をお待
ちしております。
(文・山内)



銭屋塾

× THE LETTER PRESS

コラボレーション企画

ヴィーガン

グルテンフリークッキー

日時

2023年10月28日(土)

11:00~13:00

箱は今回だけのオリジナルデザイン！
詳細はHPをご覧ください。



HPはコチラ



THE LETTER PRESS

大阪・野江の活版印刷で
ものづくりが楽しめる印
刷ショップ。店内には活
版印刷を使ったオリジナ
ル商品が並び、昔ながら
の活字や機械を使った
活版印刷体験も可能。
営業時間など詳細はHP
をご覧ください。



(商品例)
LETTER PRESS BOX

THE LETTER PRESSの定番
商品。「余り紙を捨てしま
うのはもったいない！」と
いう想いから生まれました。
今回、銭屋塾とのコラボの箱
は一枚一枚手刷りで丁寧に
お作りしています。活版印刷
の凸凹やインキの滲みや
擦れ、その一枚にしかない温
かな風合いをお楽しみだけ
でしたら嬉しく思います。

現代では様々なもののデジタル化
が進み簡略化される一方で、モノが
あふれ、消費されるものが多い世の
中となりました。ただ消費されるも
のではなく、意味のあるものとして
大切にお使いいただけるような商品
をTHE LETTER PRESSはご提案
しています。

THE LETTER PRESS
モノを大切に使う
ということ。

講師のことは
Teacher Message



Sachi先生

Raw&Vegan Sweets
オンラインショップ運
営・ロースイーツクリエイ
ター。美味しく身体にも
美容にも良いスイーツ
の製造販売や料理教室
を開催している。

今回のコラボでは、大切な人やご
自身の身体を想って作る2種の
ヴィーガングルテンフリークッキー
を提案させていただきます。魅力的
な活版印刷の箱につめて大人な印象
のオリジナルクッキー箱をお作りい
ただける内容となっております。

Sachi先生
簡単に作れる
からだ想いのスイーツ



- オートミールの
ポリッと三角クッキー
- 玄米粉の
サクホロ丸クッキー

どちらも小麦、卵、乳製品、
白砂糖不使用！食物繊維
たっぷりて素朴な風味が後
引く美味しさです。ディップ
におすすめのヴィーガン
レーズンクリームのおまけレ
シピ付き。健康や美容に良
い簡単スイーツが気になる
方に是非知っていただきたく
思います。



10/12(木)

Culture & Life

13:30-15:00

今すぐ 写真が撮りたくなる、 スマホ写真講座

講師/齋藤裕史
受講料/5,700円(紅茶付き)

写真家として活動されている齋藤先生に教わるスマートフォンを使ったスイーツフォトレッスン。今回の会場



である銭屋ベース ソラソウは光がたくさん差し込むガラス張りのお部屋。自然光を使った撮影テクニックもお伝えします!

10/13(金)

Culture & Life

第一部11:00-12:00/第二部13:00-14:00

美姿声講座

講師/横山紀江
受講料/初回体験2,000円
2回目以降3,000円

ナチュラルな本来の美しさを取り戻したい方にもおすすめ!声のプロから美しい姿勢と呼吸法を学びます。ボ



イストレーニングをするための事前トレーニングをしっかり生かした横山式メソッドで、みなさまが持つ本来の声、きれいな姿勢・フェイスラインを引き出し、内面も一緒に整えていきます。きっかけは何でも OK。まずはただ楽しい!をご体感ください。

10/17(火)・11/5(日)

Cooking

11:00-14:00

発酵おうちごはん 事始め

講師/中川奈央
参加費/6,500円(試食あり)

[麴熟成ロースハムと自家製豆乳マヨネーズLesson]です。子供も大人も大好きなハム。手作りする



と材料はとてもシンプルに添加物フリーのハムが作れます。パサつかないちょっとしたコツや、麴の酵素を活用したロースハム・ショルダーハムの作り方をお伝えします。

10/6(金)

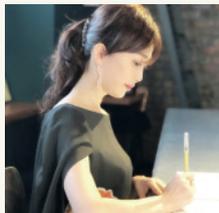
Culture & Life

11:00-12:30

大人の美文字レッスン

講師/紅秋
受講料/6,000円(ミニスイーツセット付き)

筆ペンかペン習字がお好きな方を選び、マンツーマンに近い形で文字に向き合えるレッスンです。和やかな



雰囲気の元、すぐに生活で役立つ美文字を習得していきます。2回目以降は、上達に合わせてテキストもステップアップします。

10/7(土)・10/8(日)

Culture & Life

10/9(月・祝)

12:00-15:30
※11:45までにお集まりください。

茶懐石勉強会

講師/「懐石 辻留」平晴彦
受講料/23,000円

「懐石 辻留」平晴彦氏による茶懐石の勉強会。旬のものを使い、素材の持ち味を大切に作る氏のお料理をいただき、お茶事の流れや雰囲気に触れながら作法を中心に茶懐石の楽しみ方を教わりましょう。



10/10(火)

Culture & Life

10:30-13:30

刺繍で彩る暮らし

講師/古田マイ
参加費/5,000円(芦屋U-fu紅茶付き)

テーマはカリグラフィ刺繍のニードルケース。10月の刺繍は「カリグラフィの文字」AIGUILLE = フラ



ンス語で“針”です。一見、難しそうなアルファベット刺繍ですが、このローマンと呼ばれる書体は直線がほとんどなので、とても刺しやすいです。ふわりとした羽根ペンと一緒にシックなお色一色で少し格好良く刺繍いたしましょう。ケースへのお仕立てはご自宅での作業になりますが、簡単な手縫で出来上がります。



ZENIYA

銭屋塾

2023.10/5~11/26

レッスン スケジュール



銭屋塾では、料理・文化・ものづくり・健康などに関する様々な講座を開催しております。集い、学び、体験することの素晴らしさを再発見してみたいいかがでしょうか。開催についての最新情報は銭屋塾Webサイトでご案内しております。
お申込みの詳細は、10ページをご覧ください。

10/5(木)・10/12(木)

Exercise

10/19(木)・10/26(木)

13:30-14:30

ゆったりヨガ

講師/Se2ko
参加費/2,200円
(体験レッスン1人初回1回のみ1,100円)

週に1回、身体をほぐす習慣を!無理なくできるポーズやご自宅でもできるものなどをレッスンで学ぶことができます。自分自身で身体を整えることができるようになりますか。初心者も経験者もお気軽にご参加ください。



いつもの暮らしをもっと豊かに、そして丁寧に。

10/26(木)・11/2(木)

Cooking

10:00-14:00

パン講座

講師／福島健治
受講料／5,800円
(ランチプレート、ドリンク付き)

大阪天満橋にある大人気のブーランジェリー「Boulangerie FUKUSHIMA」オーナーシェフ・福島健治氏



によるパン講座。「味」にとことんこだわり、丁寧なパンづくりを徹底しているシェフ。パン作りの基本はもちろん、シェフの楽しいトークで笑いの絶えないパン教室です。メニューは決まり次第HPでご案内します。

10/31(火)

Cooking

11:00-14:30

四季を味わう 魚のさばき方講座

講師／奥田貴子
受講料／8,500円(試食あり)

魚のアレンジの幅が広がります！少しのコツで簡単においしく食卓で楽しんでいただけます。今回のテーマは「紅葉鯛」。紅葉の時期と重なる秋に旬を迎える鯛は、上品でありながら甘みと旨味を持ち合わせ脂ノリがよくなり、さらにおいしくなります。初心者の方も男性の方も大歓迎！包丁の持ち方から丸ごと一尾出刃包丁で捌き三枚おろしにしてお刺身に。骨も無駄なくお料理まで仕上げます。



魚のアレンジの幅が広がります！少しのコツで簡単においしく食卓で楽しんでいただけます。今回のテーマは「紅葉鯛」。紅葉の時期と重なる秋に旬を迎える鯛は、上品でありながら甘みと旨味を持ち合わせ脂ノリがよくなり、さらにおいしくなります。初心者の方も男性の方も大歓迎！包丁の持ち方から丸ごと一尾出刃包丁で捌き三枚おろしにしてお刺身に。骨も無駄なくお料理まで仕上げます。

11/26(日)

11:00-12:00

ゆったりヨガ

講師／Se2ko
参加費／2,200円

今回は発酵薬膳の高山優子先生とコラボ企画、ヨガで外側から自律神経、呼吸を整える！です。そもそもヨガの効果って？そんな初歩的なところからしっかりと説明しながら進めてまいります。今回は特に「肺」をテーマにストレッチボールを使用して胸を開き、背骨を整え、呼吸法を学んでまいります。身体の流れをよくするポーズでさらにリラックス&デトックス。自分の身体を、自分自身で整えられるようになりませんか？



Exercise

特別コラボ

10/22(日)・11/24(金)

Cooking

11:00-13:00

発酵おうちごはん 事始め

講師／中川奈央
参加費／6,800円(試食あり)

「麹熟成丸鶏と林檎」のレッスン。クリスマスだけなんでもってない。下処理をしておけば後はオーブンにお任せでテーブルも華やかに。思わず歓声



が上がるおもてなし料理の完成です。肉はしっとりジューシーになる漬け込み液の配合と皮目はバリッと焼けるコツをお伝え！綺麗に50度洗いしたおかげで、骨も捨てることなくクリアで美味しいスープも楽しみの一つです。オーブンで焼き上げている間に、オートミールを使った簡単な林檎ケーキや玉ねぎのキッシュも作ります。

10/20(金)

Cooking

12:00-14:00

発酵講座

講師／畑中伸洋
参加費／7,000円(試食、お持ち帰りあり)

「超簡単、レンジで作る発酵キンパ講座」です。美味しい海苔巻きキンパを発酵調味料や発酵食品を使ってかんたんに美味しくヘルシーに作ってみよう！という講座です。ナムルや焼き肉も包みますが、それらもレンジで簡単に作ります。作ったキンパはお持ち帰りいただけます。



11/26(日)

12:30-13:30

発酵薬膳ランチ「この秋の美肌バランス」を楽しむ

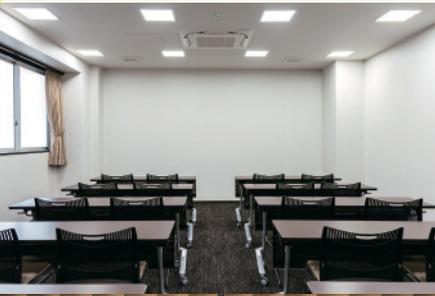
講師／高山優子
受講料／2,500円

薬膳って？興味があるけどハードルが高そう…そんな方にお勧めの身体が喜ぶ【五味五色の美肌バランス発酵薬膳ランチ】です。内側から美肌バランスを整える！ヨガも合わせて受講頂くと効果的です。身体の不調やお肌の調子が気になる方はぜひ！ヨガとセットで体に美味しいランチをお楽しみください。MENU一例：秋鮭 発酵ピーナツたれ・発酵醤油たれの漬け卵・黒木耳と松の実の蒟蒻ピリ辛炒め・梨のマリネetc.。(料理の効能効果のお品書き付き)



Cooking

特別コラボ



錢屋本舗南館

レンタルスペース

必要な時にだけ必要な場所を借りる。

そのようなイベントやセミナーが一般的になってきました。

読者の皆様の中にも、主要な交通機関からのアクセスが良く、清潔感がある場所どこか借りられるスペースはないかなとお探しの方はいらっしゃいませんか？

実は(株)錢屋本舗は南館にもレンタルスペースがございます。

今回は実際にいただいたご要望に沿ってその一部をご紹介します。

20人前後で、ちょっとした説明会を開きたい

アットホームな感じでワークショップできる場所を探していて…

舞台を使って発表する場はないかな

一般の方を入れて講演会を開きたい

185名程収容できるような多目的ホール：うえほんまち錢屋ホール。可動式舞台も完備、落語会で使用する高座台や屏風等の備品もございます。松羽目袖幕もポイントです。

錢屋本舗南館6階ではフロア帯に様々な大きさの部屋があり、全てレンタルスペースとしてご提供しております。綺麗な廊下やフリースペースはちょっとした待ち時間も快適に過ごせると好評いただいております。(文・山内)

シンプルだからこそ、様々なニーズにマッチするセミナー室。机と椅子を並べて24名程収容できる手軽なスペースです。

詳しくはコチラ
相談、空き状況etc
お気軽に問い合わせください。



LINE



錢屋本舗本館
LINE@



錢屋塾や錢屋カフェの最新情報やイベントのご案内を配信します。

YouTube



ヒトの魅力をぎゅっと詰め込んだ公式YouTube。ライブ配信も要チェックです！

錢屋カフェ 06-6770-5770

Instagram: zeniya_cafe Facebook: fb.me/zeniyacafe



企画・制作・発行

株式会社錢屋本舗

06-6772-1241

大阪市天王寺区石ヶ辻町14-6

https://zeniyahompo.com/



バックナンバーはこちら



原和人先生の 俳句教室

俳句に親しみ、
言葉を磨く



俳句の楽しさ

「句会の後の楽しさ」

句会は、句座を共にするメンバー（連衆）が、俳句を提出し、選句を講評する。そして、高得点句や主宰選の句の講評を楽しむ（勉強する）のです。自分の句が高得点だったり、主宰特選に取られたりすると、気分は上々です。

ただ、それだけで終わらないのが句会。終わった後は、懇親会兼反省会と言う自由参加の飲み会があるのです。ここで、成績の良し悪しに関わらず、当日出された句や自分の句の事を話したり、主宰の選はおかしい！などと息巻いたりするので、次回の句会への鋭気を養う場でもあります。

第85回 錢屋句会

2023年9月9日

兼題：天の川、白露、梨（他、自由題2句）

長十郎求人欄に包まるる

谿口蹴月

先生評 梨の長十郎が新聞にくるまれている様子を詠みました。求人欄が良いですね。長十郎という人の名前の梨を持ってきて、まるで梨の長十郎が求人されているようです。滑稽感いっぱいこの句です。

稲刈りて古墳は高くなりけり

西野徹

先生評 大きく広がる稲畑の向こうにある古墳。稲刈りが終わると、ひろびろとした刈田の向こうに、殊更大きく見えたのです。季語が豊穡のニュアンスがあるので、古墳の悠久の時も感じられますね。

名月や地球を愛でる日も間近

甲佐京子

先生評 普通は地球から月を見て愛でるのですが、「月から地球を見る」と逆転させたのが面白いですね。無人船の月への着陸が報じられていますから、こんな景ももうすぐ「あり」のような気がします。

天の川優しき嘘をかきねつつ

静香

先生評 天の川を眺めていると過ぎし日の事を色々と思ひ出します。作者は、人を傷付けないための優しい嘘を重ねてきたのでしょうか。氣遣いのできる人柄が偲べれます。

講師の句

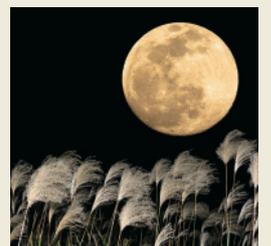
草の花いとしきものを眠らせて

原和人

鑑賞 草の花は、秋に咲く可憐な草の花。美しさの中に少し不穏なものを感ずる時があります。眠らせるのは、多分金魚とか小鳥とかでしょう。

「季語のあれこれ」

講師 原和人



俳句における

秋の時候（月）の呼び名

秋は、立秋から立冬の前日までです。陽暦で言えば八月初め頃から十月初め頃。陰暦では七月から九月です。

陰暦七月

別名「文月（ふみづき・ぶづき）」

陽暦八月上旬から九月上旬頃。一説に七夕に詩文を作った事から文月とか。

陰暦八月

別名「葉月」

陽暦九月上旬から十月上旬頃。一説に葉がようやく色づく頃の名。

陰暦九月

別名「長月」

陽暦十月上旬から十一月上旬頃。一説に夜が長くなる月であることから。





錢屋本舗本館が発信する価値観が、カタチになったモノを集めた商店です。ここではわたしたちが発信する価値観のもと選んだモノについて語ります。



錢屋商店



VOLUME: 011



ZENIYA STORE

新しい製品に「変換」させて 価値を生み出す Lapain

ロゴマークはウサギがモチーフ。それは社長である久保晃一さんが卯年だからなんだとか。今回はLapain（ラパン）へ取材に伺いました。店名の由来はLapain+pain（フランス語でウサギ+パン）＝Lapainです。

錢屋商店で取り扱うファイバーバーやグラヌは、どちらもアップサイクル食品（おからやモルトかすを使用）として私たちが注目し、実際に試食、そしてお取り扱いは始まりました。「食のアップサイクル」副産物」というと、まだまだ日本ではネガティブに捉えられることが多く、「と奥様の恵理副社長。その明確な理由は不明ながらも、どこか私自身もその風潮があるという事実、納得してしまいました。元々、私たち日本人特有の「もったいない精

神」があるはずなのに、課題の多い食品ロス。ここに真っ向から取り組みを決意し、5店舗あったパン屋を1店舗に縮小されました。その甲斐もあり、これらの商品が生み出されることとなったのです。

このファイバーバー、棄てられるはずだったおからやモルトかすの栄養価の高さに着目した商品づくりが行われています。よって、食物繊維やたんばく質が豊富なのです。そこを伝えるとおいしさは置いてけぼり？と思われそうなのですが、そこは社長も職人（元々は料理人）ですから、味の追求もとことんされています。添加物を入れると、いわゆる「わかりやすい味」にはなりません。ただ、それをするとは未来に繋がらないとおっしゃる久保夫妻。ハーブやナッツ、フルーツを使用し、味のバランスを整えられています。

日々の食生活の中で、少しでも自身のカラダに足りないものを補い、今すでに身をもって感じる気候変動・環境問題に、食を通じて私たちも取り組めたらと思います。（文・中島）



上本町人

上本町には街を愛し、愛されている人がたくさんいます。
なじみあるあの人やあの店の歴史、自慢、これからのことを、根掘り葉掘りと聞きました！



“日本の良きもの” モナカやお茶を 現代生活に合わせ楽しむ



実と美 店主
小林 剛人さん

「日本の良きもの」をコンセプトに、現代の生活に合わせた茶のひとつときを提案しています。もともと私は南船場で、急須で煎れたお茶をいろんな作家の器を使って飲んでいただくwadecafeや、陶芸作家の器を展示するギャラリーwadetoを手掛け、金継ぎによる器の

修理も行ってきました。その次の段階として「カジュアルに持ち歩ける本物のお茶」が面白いと思ったこと。wadecafeで評判の良いモナカを何とか持ち帰れるようにしたい、日本らしいお土産として海外に持って行きたいと考えたことから、実と美を4年前にオープンさせました。

実と美のモナカのベースはwadecafeで作ったものです。モナカは日本の伝統的なお菓子ですが、そんなトラディショナルなモナカからの派生を考え、白味噌餡、黒ゴマ餡、ミルク餡といった現代の素材を合わせた餡をご提供しています。

お茶に関しては、テイクアウトスタイルが面白いと思っているので、茶葉だけでなく、紙カップでのシングルオ



雰囲気ある店内で、モナカやお茶をいただくこともできる



本日のモナカ6個入り ¥1,350
皮は別包装でバリッとしたおいしさを味わえる



リジンのお茶や、夏限定で台湾のウーロン茶を20時間以上水出しした「密香烏龍茶」を販売しています。これはかなりめずらしいと思いますし、他にはないうちの面白さです。

店の内装にもこだわっています。私は減り続ける古い家具や什器は、直感的にいいと思えば買うようにしています。古い木や鉄など時間経過で朽ちて美しいものも大好きで、古い食器や小物、作家の器は使いまくって自分色に育て



実と美 mitomi

大阪市天王寺区上汐3-5-19

TEL.080-6666-7326

営業時間：

平日12:00-18:00

土日祝 11:00-18:00

定休：月・火曜日



ることに喜びを感じます。そこでの審美眼は自分の中に揺るがないものがあると自負して、そうして見つけたものを実と美の店内でも使っています。

店の場所として上本町を選んだのは、物件が気に入ったことにつきます。僕は店選びも直感が大事だと思っていて、周辺のリサーチはほとんどしませんが、上本町には小学生の頃から馴染みがあり、アルバイトをしていた時期もありました。さらに店の前の通りは大坂城から続く熊野街道！さまざまな年齢や環境の人が入り混じっていますし、それがうまく調和している良い町です。

今後の展開としては、これもあれもやりたいという思いがあるので、どのカードを引くかは全てタイミングです。やりたいことをやるように、日々準備はしていきたいと思っています。（取材・山田／前田）



雨あがりの虹

Vol. 34

監修：正木大貴【博士(医学)】

教育関連の制作を仕事とする銭屋本舗の子会社サン・ロワから、子供の成長を支えて晴れやかな日々を送れるような小さなアイデアや提案をお届けします。いろいろある毎日でも、雨上がりには虹が見えますように！



ココロ
コミュ

子どもと言葉の

コミュニケーション

Vol. 1

学校であった出来事を家で話す時や、自分が感じていること、意見を人に伝える時、お子様はどの

ような言葉の使い方をしていますか？

物事の内容や自分の気持ちを

正確に言葉で表現するのは、大人でも難しいもの。子どもがそれらに適切な言葉で表せるようになるためには、どうすればよいのでしょうか。



今号より3回



にわたって、子どもが「物事や自分の気持ち・意見を言葉で表現する」ために、家庭でどのようなことに気をつければよいのか、親はどうサポートしていけばよいかを考えます。

コミュニケーションと言葉

コミュニケーションには、大きく分けて「言語」「非言語」という2つの手段があります。言語コミュニケーションとは、言葉を使って自分の考えや思い、見たり聞いたりしたこと、知識、価値観などを他人に伝えることです。

一方、非言語コミュニケーションとは顔の表情や視線、声のトーン、身振り・手振りなどでメッセージを伝達し合うことです。

ここでは、まず「言語コミュニケーション」について考えてみましょう。

言語コミュニケーション①

コミュニケーションにおいて

言葉が果たす役割

子どもは言葉を使うことで相手の気持ちや考えを理解し、自分と他の人との違いにも気づけるようになっていきます。いわば子どもは言葉を使ったコミュニケーションによって、周囲と関わりながら社会生活を送る力をつけていきます。

多様性を前提とするこれからの時代、関わる人すべてが同じ認識のもとで理解・行動できる場面はほとんど減っていくはずですが、ですから互いの理解を深めたり、問題を解決

したり、新たな考えを生み出したるために、言葉を用いたコミュニケーションの力をつけることは、今後ますます重要になっていくでしょう。

言語コミュニケーション②

言葉は不完全な

コミュニケーションツール

ただ、言葉はコミュニケーションにおいて非常に重要な役割を担っているものの、必ずしもパーフェクトなツールとはいえません。

例えばメールやSNSなど、テキストでやり取りをした時に相手に誤解され、「そんなつもりじゃなかったのに」と驚いたり、戸惑ったりした経験はありませんか。

たとえ同じ言葉でも、自分と相手がか全く同じように物事を受け止めたり、理解したりしているとは限りません。このように、言葉を重視する一方で、その限界や不完全さも認識しておきたいものです。

次回はより良いコミュニケーションのための言葉の使い方、言葉を使ったコミュニケーションで大切にしたい4つの要素などを紹介します。



#毎日、奇跡を起こす

思いを込めて行動すれば奇跡は起きると思つています。「なんだ、そんなことか」と平凡に感じられるかもしれないが、逆に言えば、思いが伴わない行動で奇跡は起きないでしょう。奇跡は偶然ではなく、能力も才能も関係ありません。能力は計画通りに事を進めるために発揮され、思い描いた事が実現できる素晴らしさがありますが、そ

れ以上のことは起きませんし、そもそも（それが起きることを）必要としていません。

社会は有能さを求め、教育は能力を伸ばすことを重視し過ぎていると思えます。仕事では能力を発揮するのと同じか、それ以上に思いを込めることが大切だと思えます。教育の現場でも、その大切さを教えて欲しいと思えます。明日の未来は今日の自分が創り出すものですが、小さな奇跡がたくさん集まれば世



の中が楽しく変わるのでないでしょうか。強く思つて心を決めて、できることからすぐに行動することです。

（文・正木）

直木三十五の筆跡

錢屋本舗本館最寄りの谷町九丁目駅から一駅、谷町六丁目駅に直木三十五記念館があります。

直木三十五は『直木賞』にその名を残しているので名前はよく知られています。が、大衆文学というジャンルのせいか発表から年月のたった今日ではほとんど読まれていません。そ



のことを憂いた有志によって、2004年に直木三十五の生家に近いこの場所に記念館が建てられました。

記念館には直木三十五が書いた手紙が数多く展示されています。その中に芥川龍之介に宛て

たものがあり、しばし見入ってしまったのを見たのは手紙の内容ではなく直木三十五の筆跡です。少しユーモラ

スで、自然体。文字自体は崩れていますが書面全体にはバランスのよさがあります。伝えられている破天荒さとは違って、いい人そうだなと思いました。

帰社後、インターネットに公開されている作品に目を通して更に驚きました。筆跡にも似て、奔放でありながらバランスの取れた素敵な文体で、なかなか読み止めることができないほどです。実物を見ないとわからないこともありますね。（文・池側）

みんなの「ちょっとしたことをちゃんとやる」を繋ぐリレー

何かに繋がる日々のメモ



錢屋本舗 企画部
橋爪 はなび

世の中は、誰かが工夫して行ったこと、何気なく言ったことで溢れ返っている。つまり、全部はアイデアの積み重ねなんだ。と、いつしか思うようになっていました。そして、私の周りでもそれは同じです。特別な思い出、些細な誰かの発言、見かけた景色、広告、感じた雰囲気、そのときの気持ち。これらを取り入れ、考える、すると何かが浮かぶ。自分の周囲に転がる物事が、引き出し、として活きて、私を作っていることに気づきました。でも、そういったことをずっと覚えられているわけはありません。出会った物事を次々活かしたいと思うので、混在したり忘れたりします。だから、全て、手帳やSNSに記したり、写真や映像に撮ったりして、残すことを大事にするようにしました。そうすることで、過去の自分を現在生きている自分に思い出させ、考え方やアイデアをよりいいものにできる気がするのです。



月刊

It's my place
UEMACHI & LIFE

- みんなのわがまち -

ご自由にお取りください

2023
October
vol.40

10

10年前と今とで、この町は何が良くなって何が悪くなったか。そして10年後は？暮らす、働く、楽しむ、学ぶ、育てる、育つ、老いを迎える…。この町を歩き交うさまざまな人が、それぞれの思いで描く10年後の寄せ書きです。

寄書

未来の上本町

近年は当店の和菓子や六本木ヒルズや東京の高島屋などで販売していただくようになり、それをきっかけに他の百貨店や全国の銘菓を集める和菓子イベントなどでも紹介されるようになりました。一時期は地元密着にこだわり、他での販売は控えたこともありましたが、

良いものを作っても知られないと食べてもらえません。今は、多くの方に知っていただけのような四代目の息子が対応してくれています。もともと和菓子は茶道とのつながりが深く、うちも代々、例外なく茶道をたしなんできましたが、やはり茶道人口は減っています。

和菓子とコーヒーのペアリング ここにしかない提案を



本まつばや
三代目 代表取締役社長
松下 雄一さん

そこで最近では和菓子とコーヒーのペアリングを研究し、「本まつばやの和菓子と、それに合うコーヒー」という形で提案する商品に力を入れています。和菓子とコーヒーを曖昧に合わせるのではなく「この和菓子にこのコーヒー」がポイントです。

そうして新しいことを進めていく中でも大切にしているのは、和菓子作りの基本。和菓子とは牛乳や生クリームといった乳製品が入ってくる明治以前の菓子を指しますから、うちでは乳製品も、卵以外の動物性原材料も一切使いません。

店の周辺にはマンションが次々に建ちますが、教育熱心な方達の出入りが激しい印象で、昔から長く住んでいる方も少なくなっています。その中でよく言われる

のが、「昔この辺に住んでいた。懐かしい。ここだけは変わってほしくない」ということ。本まつばやは1927年創業ですから、場所としての価値や地元の方たちの思いを受け継ぎながらも、新しいお客様にうちの味を知っていただく機会を広げることが大事だと思います。特に和菓子屋は馴染みがないと敷居が高いようですから、東京や有名百貨店で扱われている商品が身近にあるというところで、地元の方たちも「うちの近くにこんな店があつたんや」とか、「有名だから食べてみたい」と店に足を運んでくだされば嬉しいです。これからも息子と協力し合って、皆様に誇りに思ってもらえるような和菓子作りを続けていきたいと思えます。(取材・山田)



本まつばや
公式オンラインストア

誰のものでもない我が町。その未来はみんなの輪でつくりましょう。